

第2回 江見小学校「学校運営協議会」について

期日：令和6年11月11日（月）

場所：江見小学校会議室

出席者：梶谷 純一、花戸祥浩、石井正子、鈴木正彦、高橋 徹、波々伯部邦夫、
座間 斉、山口真妃、鈴木義徳 ※鴨川市教育委員会 石崎要一郎

記録：鈴木義徳

1 授業参観 ※各学年の授業を5分程度参観。

2 学校より説明

(1) 児童及び学校の様子

- ・7月～11月上旬までの学校行事の紹介及び児童の活動の様子

(2) 前期学校評価アンケートについて

- ・成果としては児童、保護者、職員ともに「朝食を食べる」「友達にやさしくしている」ことが共通していた。
- ・課題は児童は「自分で起きること」「あいさつ」「読書」「英語」、保護者は「読書」「英語」「家庭学習」、教職員は「挨拶」「交通ルール」「読書」など共通していることと捉えが違うことがあった。
- ・前回の協議会で「教職員の仕事で負担になっていることを教えてほしい」という意見が出たので、時間をかけて行っていること「児童への指導」「教材研究」「保護者対応」「校務分掌業務」「会計業務」「施設・備品の管理」を説明した。

3 議事

(1) 学校での働き方改革について

- ・校務分掌の表を見て、業務が多くあることに驚いた。
- ・外部委託できることはした方がよい。ウエルネススポーツをこども園では使っていた。小学校でもできることがあれば使うとよい。
- ・学校敷地にある樹木の伐採などは今年度設立されたおやじの会にお願いするなどの方法がある。

(2) 子どもたちの学習や生活について

- ・長期休業中にタブレットで行う宿題があるが、親はどれくらい子どもがやっているかを確認するのが難しかった。児童の学習の進捗を先生方からも聞きたいと思うことがある。→面談など通して伝える機会を作るなど検討する。
- ・ノーゲームデーは設定されているが、ネットなどどのような影響があるのか心配している。→学校でも講師を招いてインターネットの利点や問題点を児童に学んでもらう機会を作っている。今後も継続していく。

(3) 防災備蓄について

- ・もしも児童が在籍している時に災害が起こったら、学校で避難し待機をする必要性が出てくる。学校には子どもたち用の備蓄があるのか。例えば年度当初に防災備蓄費など集金して備えておくという方法ではどうか。